

《校長式辞》

桜の花は一足早く満開のときを向かえ、皆さんの入学を心待ちにしていました。
新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
今日からここ正智深谷高等学校が、皆さんの母校です。

本来であれば、多くの保護者の皆様と共に、この体育館で直接お祝いを申し上げるところでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、残念ながらその願いは叶いませんでした。皆さんにとっては、卒業式に続いての制限された中での入学式となってしまいましたが、私たち教職員が、皆さんの入学を歓迎する気持ちに、全く変わりはありません。

さて、皆さんは、それぞれがそれぞれの経緯で本校へ入学してくれました。
中には高校受験で、悔しい思いや、残念な思いをした人もいたかもしれません。
しかし、今日ここで、全ての過去は忘れてください。
今日からが皆さんにとっての新しいスタートです。
高校での3年間は、皆さんの未来につながる大切な3年間です。
ほとんど全ての人が高校へ進学する中学3年生の進路選択とは異なり、高校3年生で迎える進路選択は、皆さんの将来に、そしてある意味人生につながる進路選択になります。
どのような道を選ぶのか、そして、どのような道へ進むのか・・・。
それを決めるのがこれからの3年間です。

これから進んでいく未来には、不安が尽きないかもしれません。高校で友達は出来るのか、クラブの練習についていけるのか、ウイルスの感染は収まるのか、休校はいつまで続くのか、といった近い未来から、これから日本の経済はどうなってしまうのか、20年後の自分は何をしているのか…といった先の大きな未来まで考えると、どんどん不安になっていってしまいます。そして、その答えは、誰も知りません。

しかし、必要以上におそれることはありません。今出来ることは、今この瞬間に出来ることに全力を尽くすことしかないのです。今を一生懸命生きるしかないのです。
過去を悔やまず、未来を恐れず、今を全力で生きて行って欲しい。
それが、私が入学式で、皆さんに一番伝えたいことです。

目に見えないウイルスとの戦いは、終わりが見えず、不安なことばかりです。国からの緊急事態宣言もまもなく発出されることが発表されています。
ただ、朝の来ない夜はありません。今は個人で出来ることをしっかりとやり、耐えるところ

ろをしっかりと耐えていけば、必ずや落ち着きを取り戻す日が来るはずです。平穏な日が再び訪れることを願いながら、正智深谷高等学校で共に学んでいきましょう。

私たちは全力で皆さんを支えていきます。

今と一緒に全力で生きていきましょう。

改めまして、本日はご入学、誠におめでとうございます。

令和2年4月7日

正智深谷高等学校

校長 加藤慎也